

平成28年度ウエザリング技術研究成果発表会開催のご案内

主催 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

協賛 一般社団法人日本塗料工業会, 日本プラスチック工業連盟,
一般社団法人日本防錆技術協会, 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団

開催日 平成28年11月30日(水), 12月1日(木) 2日間

会場 第1日(11月30日)メルパルク東京 東京都港区芝公園2-5-20 TEL (03)3433-7210
第2日(12月1日)銚子暴露試験場 千葉県銚子市新町1034-1 TEL (0479)23-8131

参加料 参加料は、参加申し込み時にお支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月30日)のみ	2,500円	4,500円
第1、第2日(11月30日、12月1日) 2日間	3,500円	5,500円

注) 消費税、第1日の昼食代込み。

振込先

三菱東京UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸ノ内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
イッパンザイダンホウジンニホンウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

参加申込 「平成28年度ウエザリング技術研究成果発表会参加申込書」に所要事項をご記入の上、
郵送、FAX又はE-mailでお申し込みください。

送付先 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11
一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
TEL 03-3434-5528 FAX 03-3434-5529
E-mail: tokyo@jwtc.or.jp

平成28年度ウエザリング技術研究成果発表会テーマ・講師

11月30日（水）

午前の部 A会場

時 間	テ ー マ・講 師 (敬称略)
10:00 ～10:05	開会挨拶 当財団 理事長 屋良 秀夫
10:05 ～10:35	I o T時代を生き抜く標準化ビジネス戦略 経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 課長 藤代 尚武
10:35 ～11:35	鋼材の大気腐食の電気化学的研究 国立大学法人東京工業大学 西方 篤
11:35 ～12:35	昼食（A会場で昼食となります。）

午後の部 A会場（高分子材料，塗料）， B会場（金属材料）

時 間	A会場（高分子材料，塗料）	B会場（金属材料）
12:35 ～13:35	フッ素樹脂塗料の先端技術 旭硝子株式会社 高柳 敬志	ラウンドロビンテストによるアルミニウム合金の 自然電位測定推奨条件 株式会社UAC J 大谷 良行
13:35 ～14:35	外装材の汚れ評価方法に関する研究 一般社団法人日本建設業連合会 外装材の汚れ評価に関するWG 清水建設株式会社 米丸 啓介	自動車の腐食と表面処理鋼板の腐食性評価技術 J F E スチール株式会社 水野 大輔
14:35 ～14:50	休憩	休憩
14:50 ～15:50	通信用鋼構造物分野における熱可塑性 PET 粉体塗 装塗膜の高分子物性とウエザリング特性 日本電信電話株式会社 竹下 幸俊	ステンレス鋼の耐候性と各種ステンレス鋼の暴露 試験結果 新日鐵住金ステンレス株式会社 松橋 透
15:50 ～16:50	高分子および複合材料の劣化メカニズムとその解析 手法 国立大学法人群馬大学 黒田 真一	日本における鉄鋼材料の大気腐食挙動 —E-Asia プロジェクト暴露試験結果— 国立研究開発法人物質・材料研究機構 篠原 正

12月1日（木）

銦子暴露試験場見学会

時 間	テ ー マ・講 師 (敬称略)
13:00 ～15:45	銦子暴露試験場設備機器の説明及び見学 耐候性に関する質疑応答 当財団 銦子暴露試験場 職員

発表の概要

午前の部 A会場

IoT 時代を生き抜く標準化ビジネス戦略	経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 課長 藤代 尚武
鋼材の大気腐食の電気化学的研究	国立大学法人東京工業大学 西方 篤
大気腐食は水膜下で起こる電気化学的現象であり、電気化学計測はその腐食機構の解明、耐食性評価、腐食モニタリングなどの研究手段として有効である。本講演では、薄膜電解液下での電気化学計測について解説し大気腐食機構について述べる。さらに炭素鋼、耐候性鋼、亜鉛めっき鋼板、表面処理鋼板およびステンレス鋼の大気腐食の電気化学的研究について紹介し、実大気環境における耐候性鋼とステンレス鋼の大気腐食のモニタリングについて述べる。	

午後の部 A会場 (高分子材料, 塗料)

フッ素樹脂塗料の先端技術	旭硝子株式会社 高柳 敬志
フッ素樹脂塗料が社会に出現して耐久性の考え方に革命を起こしたと言われるが、その検討は依然続いている。高温多湿地域で散見される酸化チタン含有塗膜における光触媒反応による劣化と評価方法である過酸化水素水スプレー型促進耐候性試験の検討を一般促進耐候性試験、屋外暴露試験の知見と合わせて報告する。関連する規格などにも言及する。 後半では市場分野として大きく広がっているフッ素粉体塗装技術について報告する。	
外装材の汚れ評価方法に関する研究	一般社団法人日本建設業連合会 (日建連) 外装材の汚れ評価に関する WG 清水建設株式会社 米丸 啓介
日建連では、塗装仕上げによる外装材の汚れ性能を建設ユーザーが適切に評価できるようになることを目標として「外装材の汚れ評価方法に関する研究」を行った。汚れの実態を把握するために各種塗装試験体を国内 10 カ所所で 2 年間の暴露試験に供し、汚れデータを取得すると同時に汚れ物質を採取した。さらに、新たな塗料による塗装仕上げの汚れ性能を短時間で評価するための“日建連式塗装材料促進汚染試験方法”を検討し提案した。	
通信用鋼構造物分野における熱可塑性 PET 粉体塗装塗膜の高分子物性とウェザリング特性	日本電信電話株式会社 竹下 幸俊
防食塗装は鋼構造物の腐食を防止するために重要な役割を果たしている。通信用鋼構造物として鋼製の電柱である鋼管柱を取り上げ、そこへ適用される熱可塑性ポリエステル粉体塗装塗膜の高分子物性と本講演会の主題のひとつであるウェザリング特性との関係について紹介したい。結晶性高分子である PET の結晶化度と力学特性、コンポジット化と構造、耐候性、耐腐食性、耐アルカリ性等について述べ、粉体塗膜の革新的な役割を共有する。	
高分子および複合材料の劣化メカニズムとその解析手法	国立大学法人群馬大学 黒田 真一
高分子の劣化を防止し、安定性・耐久性を向上させるためには、劣化メカニズムの基本を理解し、劣化挙動を正しく解析することが重要である。本講演では、高分子の多彩な劣化メカニズムならびにその解析手法について要領よく解説する。また、酸化防止剤、紫外線吸収材 (UVA) と光安定剤 (HALS) の種類、特徴、作用および最近のトピックスについて概説する。	

午後の部 B会場 (金属材料)

ラウンドロビンテストによるアルミニウム合金の自然電位測定推奨条件	株式会社UACJ 大谷 良行
アルミニウム合金の自然電位測定は、国内の各機関においても条件が統一されておらず、整合性ある値を再現性よく測定できる方法の規格化が望まれている。孔食電位を簡便に得るための自然電位の測定条件について、6 機関によるラウンドロビンテストにより検討した。種々の合金において測定された自然電位が、Cochran 検定および Grubbs 検定に合格すること、孔食電位との差が小さいことを基準に自然電位測定の推奨条件を選定した。	
自動車の腐食と表面処理鋼板の腐食性評価技術	JFEスチール株式会社 水野 大輔
表面処理鋼板は、自動車の防錆品質向上に重要な役割を果たしてきた。本報では、表面処理鋼板の開発に用いられる各種腐食促進試験法を、実際の自動車における亜鉛めっき鋼板の腐食挙動と比較するとともに、めっき種類や試験条件の影響について報告する。また使用地域や部位により腐食環境が異なることから、腐食センサーを用いて材料が曝される環境の腐食性を定量化し、最適な防錆設計を行うための方法についても議論する。	
ステンレス鋼の耐候性と各種ステンレス鋼の暴露試験結果	新日鐵住金ステンレス株式会社 松橋 透
ステンレス鋼は、その優れた耐食性を活かして大型建造物の屋根や壁材、各種工業機器の外装材などに適用されている。しかしステンレス鋼といえども材料と環境の組み合わせによってはさびを生じうる。今回はステンレス鋼の大気腐食について、さびの発生・進展機構を概説するとともに、様々な環境におけるステンレス鋼の暴露試験評価事例を、近年開発された省資源型ステンレス鋼の結果も交えて紹介する。	
日本における鉄鋼材料の大気腐食挙動 - E-Asia プロジェクト暴露試験結果 -	国立研究開発法人物質・材料研究機構 篠原 正
アジア地区に適した大気腐食の評価・分類法を探索することを目的として、炭素鋼を含む 4 種類の鉄鋼材料の暴露試験を、日本、タイ、ベトナムで実施した (E-Asia プロジェクト)。各国の試験結果に対して統一的な解析を行い、温帯・寒帯から熱帯に亘るアジア地区における、各金属の腐食挙動およびそれに影響を与える気象・環境データを取得できた。本講演では、日本国内 16 箇所での暴露試験結果について紹介する。	

参加料 ※ 参加料は、参加申し込み時にお支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月30日)のみ	2,500円	4,500円
第1, 第2日(11月30日, 12月1日)2日間	3,500円	5,500円

注) 消費税, 第1日の昼食代込み。

参加料の振込先, 口座名

振込先

三菱東京UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸の内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

イッパンザイダンホウジンニホンウエザリングテストセンター

口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

※ 請求書が必要な場合は、参加申込書に記入してください。

(参加申込書は郵送, FAX 又は E-mail のいずれかの方法でご提出ください。)

留意事項 1. 参加申込締切日は、11月20日迄とし、定員は100名とします。

2. 第2日(12月1日)の参加定員は30名とします。交通の詳細は、参加証と一緒にご案内いたします。

3. 参加証は、正規受付け後、参加申込者宛に送付いたします。

4. テキストは、第1日(11月30日)の会場で受付け時に参加証と照合の上、お渡しいたします。

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター東京本部 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11

TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529

E-mail : tokyo@jwtc.or.jp

..... 参加申込書

No. _____

平成28年度ウエザリング技術研究成果発表会参加申込書

参加者	事業所	住所	〒 住所		
		名称	電話 () -		
	所属・役職 氏名				
参加料 参加日, 会場に ○をして下さい。		第1日のみ	参加者	名	参加料 円也
		第1, 第2日 2日間	参加者	名	銀行振込 振込日
		第1日目 午後の部	A会場(高分子材料, 塗料) B会場(金属材料)		銀行 月
		請求書		要	・ 不要

※ 2名以上参加される場合は、人数分の所属・役職及び氏名をご記入して下さい。